

大池中学校区 学校適正配置検討会議（第7回） 会議録

1 日 時 令和3年3月22日（月） 午後6時30分から

2 場 所 大阪市立大池中学校 多目的室

3 出席者

（委員）

足立 須香委員、上堀内 佳朗委員、川瀬 邦彦委員、菱田 享宏委員、藤原 智代委員、古田 邦一委員、安田 宣哲委員、山室 嘉子委員、吉田 久恵委員

（学校）

上田 健二（大池中学校長）、高尾 祐彦（御幸森小学校長）、柿野 久（中川小学校長）、庄司 量士（舍利寺小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育担当部長）、花月 良祐（教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、井平 伸二（生野区役所安心まちづくり担当課長）、大川 博史（生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、川楠 政宏（生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、堀内 威雄（生野区役所地域まちづくり課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）、三好 みなみ（生野区役所地域まちづくり課係員）、西川 明宏（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴）10名

4 議題

- (1) 小中一貫校の通称について
- (2) 大池小学校の校歌について
- (3) その他

5 議事要旨

(1) 行政からの説明

【大阪市立学校設置条例の改正について】

（説明者：竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）

- ・令和3年2月25日の市会本会議にて、生野中学校区、田島中学校区、大池中学校区を令和4年4月に再編する「大阪市立学校設置条例の一部を改正する条例案」が可決された。

【小中一貫校の通称について】

（説明者：大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）

（配布資料に沿って説明）

- ・小中一貫校の通称は必須ではないが、市内の既設の小中一貫校では通称をつけている。大池中学校区の小中一貫校でも通称をつけるということで良いか、提案をする。

【大池小学校の校歌について】

(説明者：柿野中川小学校長)

(議事資料及び音声により、校歌の披露を行った。)

【大池小学校開校に向けた施設整備について】

(説明者：柿野中川小学校長)

(報告資料1に沿って説明)

【通学路の安全対策について】

(説明者：大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

(配布資料に沿って説明)

- ・「児童の安全確保と居場所づくり事業」について、事業内容が決まった。
- ・下校時の見守りを行う指導員の具体的な配置場所について、学校と相談を行っていく。
(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

(報告資料2に沿って説明)

- ・外側線、横断歩道、止まれ表示等の線が薄くなっている箇所についての資料は警察、建設局に提供し、確認をいただいている。令和3年度の早期に塗装されるよう依頼をしているが、年度明けすぐの対応は難しいとのことだが、通学路の安全対策であることも考慮し、区内の工事のなかでも早めに行えるようにしていくと聞いている。
- ・舎利寺小学校区の安全点検については、日程調整ができ次第、現地確認を行い、次回の検討会議で報告のうえ、関係機関に対応を依頼する予定としている。

【学校体育施設開放事業について】

(説明者：堀内地域まちづくり課担当係長)

- ・大池小学校での学校体育施設開放事業の運営については、令和2年5月から御幸森・中川の両校間の調整を始め、8月から運営委員会に区役所も入り調整を進めてきた。
- ・令和2年9月の中川小運営委員会の際に、少年野球については、中川小の施設では受入が難しい旨の話があった。
- ・学校、区で協議したが、施設の安全管理面から現時点では受入が不可能という形になったため、10月に実施した両校の運営委員の代表数名による集まりの際に、その旨を区から説明し、他の中学校等での活動を提案した。
- ・この間、受入先を探してきたが、定期的・継続的に活動できる場所が見つかっていないという現状で、御幸森小跡地を暫定的に1年間利用できないかということで模索を始めている。

(2) 意見等の概要

【大阪市立学校設置条例の改正について】

(意見等なし)

【小中一貫校の通称について】

(委員)

- ・大池、大池だからいいのかなというのもあるんですけども、例えば、私もよくわからずにイメージでいうと、どんな感じなんか挙げていただくのと、小中一貫校自体のイメージが私もよくわからなくて。施設一体型だとまだイメージが湧くんですけども、離れているところでの小中一貫校の、どちらかという中身的なことを、前に説明があったのかもしれないんだけど、いまいちイメージが湧かないところがあるので、先にそっちなとは思いうんですけども。その上で通称名が必要であるのであれば、別に全然ニックネームみたいな感じで、みんなで言えばいいんですけども、ここでどうこうというわけで。反対しているわけではないです。あってもいいかなと思いうだけども、どんなイメージで、今、どんな感じで市内はやってはるのかちょっと教えていただけたらありがたいです。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・今日用意しています資料を今からお配りさせていただきます。
- ・今お配りしました資料、通称選定の決め方(案)ということで書かせていただきました。これは小学校の名前を決めるときにも、一度ご議論をいただきました方法を書かせていただいていますのと、下に参考ということで大阪市内にあります小中一貫校の通称と学校名を書かせていただいています。括弧の中に書いていますが、小学校の正式名称と中学校の正式名称、左に書いていますが、小中一貫校としての通称名ということになってございまして、例えば浪速区にあります浪速小学校と日本橋中学校、こちらは日本橋小中一貫校という名前になっています。東淀川区にございます西淡路小学校と淡路中学校、ここににつきましては小中一貫須賀の森学園、同じく東淀川区にあります啓発小学校と中島中学校、こちらが小中一貫むくのき学園、住之江区にございます南港みなみ小学校と南港南中学校が咲洲みなみ小中一貫校、東住吉区にございます矢田小学校と矢田南中学校がやたなか小中一貫校、西成区にございます新今宮小学校と今宮中学校がいまみや小中一貫校、ということで通称をつけております。この2の括弧の中にあります学校の正式名称、これは条例で定めておりまして、左にございます通称名、こちらについては教育委員会規則で定めているという形になってございます。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・失礼します。教育委員会樋口でございます。先ほど、委員から施設連携型小中一貫校というものが、どういうものなのかというようなことが、イメージが湧かないということのお話がありました。先日の校長連絡会のほうで共通理解を図っていたんですけども、これは、放っておけば小学校と中学校、施設が離れていますので、小中一貫校というふうにならないというか、なんですね。
- ・9年間を何でつなぐのかというふうなことににつきましては、ちょっと横文字を使わせていただきますと、コアカリキュラムというふうなものをしっかりと位置づけて進めていきます。そのコアカリキュラムというのは、何なのかと言いますと、このそれぞれの学校ごとにいろいろと特色を出すんですけども、この大池小学校、大池中学校の小中一貫校におきましては、御幸森小学校で展開していったユネスコスクールの考え方、実際にそういったものを継承して、9年間で多文化共生教育をしっかりと展開していこう、そしてグローバル化社会を生き抜くような子どもたちに、そういった力をつけていこうというふうな考

え方で整理を図ってきたところでございます。

- ・より具体化につきましては、今後、また校長先生方、また地域、保護者の皆さんのご意見をいただきながら、しっかりと子どもたちのための学校づくりをしていきたいと考えております。以上でございます。

(委員)

- ・樋口先生ありがとうございます。こういうふうにおっしゃっていただいたら、なるほどなと思うので、皆さんで決めるイメージが湧いてきました。ありがとうございます。できたら、そういう口頭ではなくて、この名称のところに、こういうのを、イメージを入れていただくと、何のためにこれをするのかというのを、何でもそうだけれども、先に形ありきじゃなくて、基本はやっぱり学校がよくなるための再編統合だというふうに基本思っていますので、そこら辺を軸に進めて詰めていただくのであれば、やっぱり何のためのところというところという、そういうことを言って、特に今回は御幸森と中川と舍利寺、中学校ってなるので、できたら、ペーパーで文字として明記してもらえたらありがたいなと思います。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・ありがとうございます。おっしゃっていただいたように、今後は形づけて、形になっていない段階でなかなかお伝えすることも難しいんですけども、何とかしっかりとこの場にご報告できるように努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・ほかにご質問とか、ご意見ございませんでしょうか。
- ・そうしましたら、小中一貫校としての通称名をこれから考えていくということによろしいでしょうか。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・すみません。それでしたら、通称名のほうをつけていくということでございますので、次回、どのような方法で決めていくかというのを議論ができればいいかなと思いますので、またよろしく願いしたいと思います。小中一貫校の通称につきましては以上です。

【大池小学校の校歌について】

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・次に議題2、大池小学校の校歌についてでございますが、校歌につきましては柿野校長先生の手により完成いたしまして、各委員の方へは事前に音源のほうを送付させていただいたところでございます。
- ・改めてこの場において、大池小学校校歌を流させていただきます、その後、ご意見等がございましたら、お伺いしたいと思います。

(柿野中川小学校長)

- ・校歌を作らせていただいたんですけども、早速、4月入りましたら入学式、始業式と、大池小学校が開校しましたら校歌が要るわけで、誰も歌われへん中ではちょっとスタートができないので、現在の5年生のほうで前もって、録音と動画を撮っています。
- ・私も御幸森小学校に一度行って練習をして、本校でも5年生の子を中心に練習して、最終的に御幸森小学校の5年生とうちの5年生と一緒に録音をしたという経過になっています。

- ・それを最初のところは、1 番だけですけれども使おうと思っています。初めて聞く曲なので、まだ馴染んでいないので、少しちょっとピンと子どもたちもきていないんですが、これをやっぱり育てていって、いずれ、中学生の子とかも歌ってくれるようになったらいいかなという思いで作っていますので、ちょっとテンポも予定よりも遅い目ですけれども、今の段階、1~2 回の練習で一応音源をとっていますので、それをちょっと聞いてもらおうと思っています。

<児童が歌った校歌を試聴>

(柿野中川小学校長)

- ・1 番だけですけれども、一応、この動画とそれから音源を先に録音をしています。
- ・以上です。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・どうもありがとうございます。ただいま、校歌、非常によかったと思います。
- ・皆様、拍手で。
- ・新しい学校でまた聞けることを楽しみに、皆様、しておりますので、よろしく願います。ありがとうございました。
- ・それでは議題のほうは以上になりまして、次に報告のほうに移らせていただきますが、よろしいでしょうか。

【中川小学校における学校設備の環境整備について】

- ・報告 1 といたしまして、中川小学校における学校施設の環境整備について柿野校長先生のほうからご報告をお願いしたいと思います。

(柿野中川小学校長)

- ・本日の資料にも添付して、報告資料 1 というのもありますが、全部が全部読み上げていてもあれなんですけれども、学校としては特に安全面で少し危惧されることについては、今年度中に整備ということで、というのがまず 1 つの狙いです。
- ・それから、御幸森小学校の子どもたちが来たときに変わったな、過ごしやすいな、来てよかったなと思えること、これがコンセプトで改修を進めてまいりました。これは、いろんなことを年度内に無理を言いながら進めてまいったわけなんですけれども、まず 1 つ大きなことは、子どもたち誰もが使うということで、学校図書館、図書室の整備ということをもまず大きな重点として整備をしています。
- ・まず照明、それから書架、それから絨毯ですね。誰もが入って、図書室に来てよかったよなって、本に手をできるだけ伸ばして、少しここで過ごしたいなと思うこと。それから照明をいろいろ工夫して、どの場所におっても少し気分も変えられるというような形で整備をしていっております。これが 1 つ目の大きなところですよ。
- ・今もう、まさに、本を最終入れていって、詰めた後に年度内に使えるようにということでやっています。本校の図書ボランティアの保護者の方、地域の方、それから卒業前の作業ということで、6 年生が中心に本を出して、それからまた入れてという作業をしています。
- ・それから、給食室。これは学校にとって非常に大事なところでもあります。その照明であったり、それから不具合、例えば扉、安全面も含めて扉であったり、それから冷蔵庫であったり、そういったものを入れかえたり整備をして、本校は大池中学校と親子給食の中で

整備をしていきますが、そのところが非常に重点、子ども全員が使うところですから、気持ちよく、児童が溜まる場所の雰囲気は随分1年間で変わりました。そんなところで給食指導がしやすいようにという形でしています。ここにありますように、シャッターであったりとか、そういったところを含めた細かいところをやっております。

- それから、大きく3つ目というのは、災害のことも含めて、講堂・体育館の整備ということ。まず床、これは懸案として床が一部ちょっと破損した状態になって、これをまずきれいに床を直して、ラインを引き直して。それから照明をLEDにしています。全部、今LEDでつくようにしています。いざとなれば災害の避難場所にもなるということ。それから、細かいいろいろな式典であったり、行事でも使っております。そういったことを中心に整備を進めてきております。
- ほかに、今工事が入っているところでいうと、トイレのタイルが浮いてきているところ、これは安全面ですね。そんなことを含めて今工事中であります。
- それから新しく教職員集団が活用しやすいようにということで、インターホンの整備であったりとか、そういったものも年度内にしております。電話であったりとか、それからチャイム、そういったものも入れ替えて、子どもたちが気持ちよく4月からスタートできるようなところを中心に進めております。
- あと物品ですけれども、一応予定どおりに大池小学校の名が入るようなものについては3月24日から3月末に入るということで、業者とも確認をしております。大きな新しい校章の入った旗も何種類か要るんですけれども、これが一番最初にきたやつを入学説明会、それから在校生の説明会の折にも使いながら、こういった校章、それからこういった旗になりますということをお示しをさせていただきながら進めています。
- あと、いろんな防犯のプレートとか、そういったものも全部大池小学校という名前に変えていかなきゃなりませんから、これも4月始まってからではだめですので、今やりとりをしながら間に合うように進めていっております。
- あと運動場の整備、破損がなっておりました防球ネットであったり、多目的室ですね。これは今後また地域も含めて活用する機会は多くなります。
- そういった部分の整備をぎりぎりのところまで、間に合うように進めております。
- それと、本校は親子給食もそうですけれども、英語教諭が配置されております。現在でも、本校から御幸森小学校、それから、お隣の東中川小学校に英語教育推進事業で英語教諭のほうが行っていますが、執務する場所もないということで、会議室をちょっと工夫して執務の場所、それから資料を保管する場所、そういった整備もようやく間に合って、進めております。
- あと、エアコンであったり、そういったものの整備、主に、もうあと数日もあれば御幸森から搬入されるもの、これの受け入れの準備を今学校ではまさに進めていっているところでございます。
- 以上でございます。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ただいまの報告につきまして、ご質問等ございませんでしょうか。

(委員)

- ・済みません。ありがとうございます。43 と 44 の計画的に実施予定の方針というのは、まだ決定していないということですか。
- ・南館の屋上防水改修工事等、実施予定ということは、予定だから決定はまだしてないんですか。

(柿野中川小学校長)

- ・防水は次年度予算。

(花月教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・おっしゃっていただいたとおり、決定ということではないんですけども、していくという方針のほうは決定していますんで、また時期が決まりましたら、またご報告のほうをさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(委員)

- ・これが出てくるのが、今日というのが、もうちょっと早く出していただきたかったかなというふうに思っています。
- ・というのは、通学路等については議論したりとか、もっとこうしたらいいということで、ただ学校については、私たちはわからないので、校長先生がご相談されて、こうやなということではあるにしても、今なぜ 43、44 って聞いたかということ、一応やる方向ということなので、安心ですけども、例えば、全部出された要求が通ったこの結果なのか、幾つか調整があってこの報告なのかというのわからないし、最初、とりあえずこういう要求を出したけれども、通学路のときと一緒に私たちはすごいいっぱい言うたけれども、結局これだめ、無理ですみたいな議論があったけれども、これについては、一応調整は委員会と学校でされていると、それはそれでいいんですけども、本当に全部のところの要求がどうやったんかなというところ辺り、そのための会議ではないかなというふうには思っているので、報告というたてつけもいいと思うんですけども、途中経過で、一応こういうのを出して、今こういうふうにして、ここがまだやっぱり具体的には難しいとかそういうふうな報告もあってよかったん違うかなと。こういうのを出してくれと言わないと出てこない感じではないかなというふうに。
- ・以上。私、今後のこともあるので。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・そのほか、ご質問等ございませんでしょうか。ありがとうございます。
- ・それでは、報告 2 といたしまして、通学路の安全対策について事務局よりお願いいたします。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・済みません、失礼します。きょうお配りした資料の一番最後のページ、児童の安全確保と居場所づくり事業実施内容という紙を一枚ものでつけさせていただいています。
- ・これまでの検討会議では、資料なしでイメージを説明させていただいたことがあるんですけども、今回、正式に事業として実施していくことが決まりましたので、本日も改めてご報告をさせていただきます。
- ・この 4 月から、いきいき放課後事業は新しい学校、大池小学校での活動となってまいりますけれども、これまでの説明会ですとか、いただいた意見の中で仕事のご都合などで、い

きいきに迎えに、時間が間に合わないといったこと、こういった意見を頂戴してまいりました。

- そういったことから、原則、御幸森小学校区の希望される方につきましては、生野区から委託契約をするんですけれども、契約事業者の指導員 2 名が大池小学校のいきいきから元御幸森小学校まで児童を連れ帰ると、引率しまして、その元御幸森小学校で 17 時から 18 時までお子さんをお預かりすると。その間に保護者の方に迎えに来ていただく。そういった事業を開始いたします。
- そのいきいきにお迎えに来ていただくことの負担軽減といったことと、あともう 1 点、これまで同じようにいただいてきました意見が、下校時の子どもの安全についてのご不安などを頂戴してまいりました。
- ですので、この元小学校で子どもをお預かりする指導員 2 名が、その事業を開始するまでの間、イメージで申し上げますと大体午後 2 時半から午後 4 時半ぐらいまでの間、この間につきましては、大池小学校区内を見守り活動をする、そういった形で下校時の安全対策の一助になればということでやらせていただきたいと思います。
- 指導員につきましては、腕章などで見目でわかるようにはしてまいりますけれども、あと実際に、そしたらどこをどう見守っていくのかといったこと、こういったことにつきましては、また今後、学校とも相談しながら 2 名で巡回するですとか、どこか定点に立つとか、そういったことも含めて一番有効な形で実施してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。
- 私のほうからは以上です。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- それでは続きまして、教育委員会事務局、生野区役所の地域活性化担当課長代理の三宅です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 1 月 7 日の、前回の第 6 回の検討会議におきまして、中川小学校区のほうでも外側線とか止まれの表示とか、今、停止線のほうが消えているところがあるので、やり直しをしてほしいということでご要望をいただきました、これにつきまして、報告資料 2 の 1 のほうをご覧くださいませでしょうか。
- ちょっと、色がつき過ぎて見えにくい部分はあるんですけども、まず緑色で表示して、ラインを引いている、ちょっと太めのラインで表示させてもらっているところが、令和 3 年度にグリーンラインとか、外側線とか、そういったものを新たに塗装してもらおう場所になります。
- オレンジ色のほうで表示しておりますところにつきましては、本年度、令和 2 年度にグリーンラインとか外側線等を塗装した場所になっております。それから、また外側線、横断歩道とか、止まれ表示などで線が薄くなっている箇所についても塗り直しを順次していただくということになっておまして。線が薄くなっている箇所、これもお配りしています報告資料 2 の 2 のほうですね。これが写真箇所図ということで、それから報告資料 2 の 3、これが箇所図にあわせて、それぞれの場所を写真を撮ったものになります。
- これを見ていただいてもおわかりいただけるかと思いますが、確かに線が薄くなっていて、

読み取れないとか、何の表示かわからないというような所が中に出てきておりますので、これにつきましては、この資料を建設局と警察のほうにお渡ししております、今確認をさせていただいているというところになります。

- ・令和3年度の、早期に何とか塗装してほしいということでお願いはしております。ただ、4月に年度が変わりますので、新たな年度での発注手続き、入札手続、それから契約手続が必要になってきますので、年度が変わってすぐにとすることは難しいですが、通学路のこともありますので、その辺を考慮して、工事の中でもなるべく早くするというふうには言わせていただいておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。
- ・また、舍利寺小学校校区の安全点検のほうにつきましては、日程調整のほうを今現在、区役所のほうにさせていただいておりますので、調整できしだい現地確認のほうを行いまして、資料がまとまりましたら、また皆さんのほうに報告をさせていただいて、それから関係機関のほうに対応をお願いするような段取りで考えております。
- ・説明のほうは以上になります。よろしくお願ひいたします。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・ただいまの報告につきまして、ご質問のほうはございませんでしょうか。

(委員)

- ・この薄い箇所とかのライン引くのにも伴ってなんですけれども、大池小学校になったときの交通安全の何か指導というか、そういうのも入ってからすぐはされるんですか。通学路って変わるのってなかなかないと思うんで、今、御幸森小学校のほうは大幅に変わるんで、その点ちょっとですね。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・私から答えていいのかわかりませんが、これは新しい学校になって、もう、すぐ4月に計画されている中身になってきます。子どもたちに、警察の方にも御協力いただいて、実際、校内にはなるんですけれども、交通安全指導というものは行います。
- ・また、登下校の際のやはり現場での安全確認、危険な所、そういったものも丁寧に指導していく必要があるというふうに考えておりますので、これは学校のほうできちっとやっけていこうというふうな中身になろうかと思ひます。

(高尾御幸森小学校長)

- ・失礼します。本校では、御幸森小学校、2月から集団登校を開始したんですけれども、その間、地域の方の見守りも連携をとっていただいていたのと、それから教職員が2週間は集合場所まで行って、子どもたちの様子を見守りながら登校する練習をしてきていました。
- ・それから、今度、大池小学校に行く通学路が変わって、御幸森ではなくて大池まで通うので、今日、一度登校した後に再度学校から集合場所までそれぞれ戻って、集合場所から中川小学校まで行くという、大池小学校まで行くという練習を今日、実は行ったところです。
- ・中川小学校の体育館にちょっと入れてもらってというか、入り口までですけども、行かせてもらって、入学式の準備とか、それから始業式の時に、実際子どもたちに「ここまでこういうふうにして通ってくるんだよ」というふうな確認をするとともに、下校時はまた

学年ごとにちょっとわかれて、それぞれ教室から帰ることを想定して、2つの横断歩道を渡って、それから2つの橋にわかれて帰るようなことを想定して、可能な限り下校の練習をしたところです。

- ・あと、4月に入りましたら、また子どもたちが慣れるまで2週間ぐらいやるでしょうか。教職員で下校の様子を見守るとか、それから指導を、ある程度のところまで引率をして行うようなことが必要なというふうに考えています。

- ・済みません。以上です。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・そのほか、ご質問などございませんでしょうか。よろしいですか。
- ・それでは、議題、報告とも以上ということになります。
- ・そのほか、何かございましたら、まずお伺いいたします。お願いします。

(委員)

- ・失礼します。改めて、済みません。何点かあります。
- ・1点目は、ユネスコスクールのことなんですけれども、先日、ほかの方から議会のほうでユネスコスクールについての意見が出たというので、当事者の私たちが知らなくて、委員会というか、どんなふうに答弁されたのかというのをここで共有していただけたらありがたいのが、1点あります。
- ・それから、御幸森と中川が最初の再編、統合になることに当たって、例えば学校で活動をされていた生涯学習ルームとか学校施設開放のほうも支障というか、変更を迫られているところではあるんですが、その中身についても、何か担当の方によって、捉え方とか、なかなか共有されていない部分があるのではないかとということがあります。
- ・例えば生涯学習ルームだと御幸森と中川については、そんなに施設の面も支障はないんです。ただ、これから3校、4校が一緒になったりとかするときの、例えば予算の問題とか、部屋の問題とか、それから例えば部屋がいっぱいになったときに、その生涯学習ルームができなくなるのかみたいな部分も含めて、少し横断的にそれぞれ担当がおありだと思うんですけれども、ちゃんと検討して、それなりにどなたに聞いても同じように答えられるようにしていただきたいというのがあります。
- ・それから、3点目は、史料と備品についてです。御幸森小学校は、大変、えらく手際よく片づけてはおられたんですけれども、その跡地を活用するというで備品についての活用についても、その更地売却ではないわけなので、跡地の運営の人たちがどう使うかという判断もまだあるのではないかとということと。その備品についての扱いと、先生方のかかなりの負担があったのではないかとというふうに思っています。
- ・それと、貴重な史料なんですけれども、もう次の学校に、つまり大池小学校に持っていかないものであれば、もう当然処分するべきとは思いますが、やはり御幸森小学校でも96年の歴史もありますし、今後、生野区内でも100年を超える学校というのもあって、かなり貴重な史料とかもあるので、実は問い合わせをいただいて、その辺の史料についての扱いについても、事前に校長先生方にも処分にあって、やはり歴史的価値のあるものとか、そういうことについてご相談を委員会のほうでしていただくようにしたいし、しかるべきところと連携をとっていただいて、そういう貴重なものが散逸したり、なくな

らないようにしてほしくて、御幸森の場合は図書室のほうにそういうコーナーを置いていただいて、御幸森のアーカイブみたいな形ではしていただいているんですけども、そういうのも学校任せではなくて、区役所として、生野の財産やとも思うので、そのあたりのことも含めて慎重に対応していただきたいなというふうに思っています。

・以上です。

(樋口教育委員会事務局総務部主席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・失礼いたします。3点ございましたけれども、そのうちのまず1点目のユネスコスクールのことにつきまして、市会でどのように扱われたのかというふうなことについてご報告をさせていただきます。
- ・2月市会におきまして、陳情が寄せられました。その陳情の中身なんですけれども、そのまま読ませていただきますと「新型コロナウイルス感染症拡大で緊急事態宣言のもと、子どもたちが不安を抱えながら学校生活を送っている。生野中学校区、また田島中学校区の工事を一旦立ちどまることと話し合いを求める陳情書」ということでございます。
- ・その陳情項目の1、2、3とありまして、その3つ目に「生野区の多文化共生教育の中心的な柱であり、地域保護者の思いである御幸森小学校のユネスコスクールの存続を求めます」というふうなことが書かれておりました。
- ・この取りまとめは舍利寺小学校区の連合の方でございますので、その兼ね合いもあってか、そういったことを入れられたと、どこでどういうふうに情報を仕入れられたのかというのはいくわかっていないんですけれども、そういった内容で陳情を挙げてこられました。
- ・この陳情項目の3つ目のユネスコスクールについての教育委員会としての見解ということで、市会でも教育長のほうからご報告をさせていただいたんですけれども、「本市では将来を担う子どもたちの教育環境の早期改善を第一に学校配置の適正化に取り組んでおり、大池中学校区については令和4年4月の連携型小中一貫校の開校に向け検討を進めることとしています。学校再編によるユネスコスクールの継承について、ユネスコスクール事務局に確認したところ『今回のような学校再編においては、新校へ承認を継承することは、継続することはできず、新校として改めて申請し直す必要がある』と」のことでございました。
- ・このことを踏まえて、御幸森小学校が認証を受けているユネスコスクールについては、小中一貫校としてユネスコスクールの申請を行うことを大池中学校区の小中学校で確認をしています。ユネスコスクールとして承認をされるまでの期間は、ユネスコスクールとして取り組んできた御幸森小学校の実践を継承し、誰もが安心して自分らしく成長できる多文化共生教育を特徴の一つとした学校づくりを進めてまいります」と、こんな皆さんにもご報告をしている中身のまま、市会でもご報告をさせていただきました。
- ・では、ユネスコスクールについては以上です。

(井平安心まちづくり担当課長)

- ・失礼します。生涯学習ルーム事業、学校体育施設開放事業を担当しています井平といいます。どうぞよろしく申し上げます。
- ・ただいま、ご意見ありましたルーム事業、生涯学習ルーム事業と学校体育施設開放事業につきまして、再編の会議の中でも説明してまいりましたが、学校の再編によって事業自体は新しい学校の中で、統合をする形になります。

- ・実際には、こういった形で活動をしていくかというところは、跡地の検討会議の中でもご意見を聞きながら、それぞれの運営委員会さんに話を聞いた上で、新しい学校でどう調整していくかということをお役所も入りながら、進めていく形でございます。
- ・今、ありましたその情報の共有のところなんですが、確かに区役所の中、担当もちょっとわかれています、一定情報につきましては共有しながらやっているところですけども、詳しい、細かいところまでの共有というところは、なかなかできていなかったところもあるので、今後につきましてはそういったところもしっかりと共有しながら進めていきたいと考えております。
- ・以上です。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・備品によると思うんですけども、跡地になるからといって全てこういうわけではなくって、まずはほかの学校で活用するという、引き取りたいというところがある場合は公共の財産ですので、そこに寄贈します。
- ・それで、どこからも手が挙がらないもの、どこからも手が挙がらない備品とか、そういったものに関しては、ちょっと今跡地のほうの担当とどんな調整になっているかわからないんですけども、何か学校のほうで聞かれていることとかあります。
- ・というか、何か残す備品とかを決めてはるとか、そんなことは今んところはいいですか。

(高尾御幸森小学校長)

- ・今、現状使えるものについては、そのまま跡地の事業者とかが活用できるものがある可能性があるんで、なので、一応可能なものはもう現状のまま置いておいてもらっていいですよ。もう教育活動として使わないものとかは、それから古いものとか、そういうものについては引き続き処分をしていってくださーいというような意向というか、そういうイメージで話を聞いているので、そういう印象を持って片づけ等をしている状態です。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・今のところ特に、もうここでわかることはその状態なんですけれども。

(委員)

- ・いや、済みません。もうそれで結構なんですけれども、私がよく御幸森小学校に行かせてもらっている感じでは、とにかく3月31日までは、区役所の管轄になるので、要らないものは処分する、当然、先生方にしたら、学校として必要でないものは、ルールはわかります、まず大池小学校に持っていくこと、それから使える備品はほかの学校で受けることとか、それも結構なスピード感でやっていらしたのは、多分3月31日に明け渡さなあかんという感じの捉え方のような、明け渡さなきゃいけないですけど、いうたら引っ越しするときに、つまり要らんもんみんな持って行ってね、みたいな感覚の捉え方であったように思うんです。
- ・細かいこと言いませんけれども、この前、区役所の担当とか、委員会の担当の人も、こんなに慌ててバタバタせずに使えるものは置いて、特に、何ちゅうんですか。いろんな運動部の道具とかも、多分先生方は要らん、私も多分現場におったら、こんな要らんから、もう片づけんの大変だから、片づけたらという感覚になってんけれども、その辺が何か、私がずっと再編の会議だけじゃなくて、跡地の会議も出ていたので、その運営会社の

方針とか、少し置いといて後で処分してもいいので、特に来年1年間は御幸森小学校は開業というか、しないわけだから、その間にもう一度、やってもいいん違うかなというふう
に私の感覚では思っていたんですけども、どうもその辺が齟齬があって、結局、すごく
一生懸命きれいに片づけてくれてはったんですけども、かなりの先生方の負担になっている
のではないかという印象がありました。

- それと、史料等についても、多分現場は要らない。現場は要らないと思うんだけども、
実際、私も経験があるんですけども、後で聞いたら、「いや、あれも見せてほしかったとか」
「これはちょっと、だった」みたいなところも聞いたりするので、やっぱりそうする前に、
専門的な方とか、そういうことと研究をされているところで、やっぱり私も残しておける
べきものは残しておきたい。
- ただし、要らないものは学校は要らないので、その判断は学校がするのは大変難しいだろ
うなと思ったので、最後の質問はそういう窓口、つまり処分についての、こういうのは残
しておいたほうがいいみたいのところとつながっていただいて、そういうことも学校とし
ては相談してもらって、あと散逸がないようにしたらいいんじゃないかなというふうに思
ったのはあります。
- 細かいこと言うたらあれなので、ここでもうこれ以上は言いませんけれども、こういうこ
とではあります。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ありがとうございます。そのほか。

(委員)

- 済みません。舍利寺小学校区から参加させていただいております。よろしくお願ひします。
- ちょっとこの席で言うべきかどうかかわからないんですけども、先ほどの御幸森小学校で
いきいき活動をして、そちらに保護者が児童を引き取りに行くという形の案ですけども、
それが舍利寺小学校のほうでも適応されるのかどうかというのが、ちょっと気になりまし
て。
- というのは、御幸森小学校から舍利寺小学校はかなり離れているんですけども、どうし
てもちょっと田島のほうの、少し中川小学校、大池小学校のほうの校区に入ってしまうの
で、こちらの親御さんからすれば、舍利寺小学校のほうが近いという意見がどうしても、
この御幸森小学校のこういうのをすると出てくると思います。
- その際、そこまでの、指導員の方が、多分徒歩になると思うんですけども、歩いて舍利
寺小学校まで行ってとかいう案が可能なのかどうかとか。あとはどうしても舍利寺小学校
のほうの児童が少ないので、最低人数ですね。何人以上でないとその事業はできませんと
かあるようであればと思ひましてお聞きします。よろしくお願ひします。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ありがとうございます。今ご質問いただきました件で、まず今回は令和3年4月、この4
月の御幸森小学校と中川小学校、こちらが対象となっていますので、令和4年4月に再編
する部分、舍利寺小学校の校区の方、こちらにつきましても同様の形態で事業としては入
れていく予定で、流れでおります。
- 今、ご質問がありました何人以上いればという話ですけども、例えば今のいきいき放課

後事業でしたら、例えば延長後の分でしたら、縛りはあるんですけども、今回、この事業は区役所で独自に考えてやってる事業ですので、1人でも対象となる人が、申し込みがあれば、この元小学校に連れ帰るという仕組みですね。そういったことで考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(委員)

- ・じゃあ、西生野のほうも同じような感じと思っいたらよろしいですね。どうしてもあちらの親御さんが多いので、聞かれることもあるんですけども、やっぱり噂がいつてしまうんで、言うては悪いですけども、大池小学校はこんなんしてんのに、西生野のほうはしてくれへんのかとか、なってくると思うんですけども、そういうのも可能なんじゃないか。

(大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・令和4年の4月に再編しますが、今、話が出ました西生野小学校、生野中学校区ですけども、それから田島中学校区、この両方についても同じような仕組みで対応できるようにはしていこうと思ってます。ただ、それぞれの中学校区も同じような検討会議がございます、その中でまた意見をお伺いしながら、具体的には進めていくという形になっています。

(委員)

- ・ありがとうございます。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・そのほか、ございませんでしょうか。
- ・それでは、ちょっと今日、その他としまして、委員から学校体育施設開放事業につきまして、ご意見のほうをいただいております、そのことで意識合わせといいますか、ご説明のほうをこちらのほうからさせていただきと思います。

(堀内地域まちづくり課担当係長)

- ・失礼します。生野区役所の地域まちづくり課の堀内と申します。お時間をいただいております。
- ・今、司会のほうからご紹介いただきましたように、委員から現在の学校体育施設開放事業の状況について、特に少年野球に関して、大池小学校への移行について説明をということで、お申し出を頂戴いたしましたので、ご説明等をさせていただきます。
- ・まず、学校体育施設開放事業、もう先ほどの生涯学習ルームとかと同じでお話が出ておりましたので、皆様はご存じだと思うんですけども、いわゆる小学校、中学校の体育の施設、グラウンド、体育館等を学校教育に支障のない範囲におきまして、地域の皆様に開放をさせていただいているというものでございまして、各学校によりまして開放の日時であったり、場所であったり、使える範囲というのは異なっているという状況でございます。
- ・そのため、利用に当たっては各小学校、中学校区に運営委員会、地域の皆様で構成いただく運営委員会と学校とで調整をしながら、お使いいただいているというところでございます。
- ・御幸森小学校と中川小学校でも、もちろん状況は異なりますので、昨年5月ごろから両校間の調整という形で始めさせていただきまして、途中コロナで、一時期また飛んでしま

ったんですけれども、8月から改めて運営委員会のほうに区も参加させていただきまして、調整を行っていたところでございます。

- ・9月に行われました中川小学校での運営委員会の折に、少年野球、野球について現中川小学校の施設のほうでは受け入れが難しいという旨の話がございました。私ども、区の担当者の説明不足があったかもわからないんですけれども、区のほうと学校とでお話をさせていただいたんですけれども、やっぱり施設の安全管理面という点から、現時点では受け入れるということはできないという形となりましたために、10月に行わせていただきました御幸森小学校、中川小学校のそれぞれの運営委員の代表の数名の皆様にお集まりいただいた際に、その点につきまして区役所のほうからご説明をさせていただき、できる対応といたしまして、ほかの中学校等での活動を打診してみるのはどうでしょうかということで、ご提案をさせていただきまして、この間、受け入れ先ということで探してまいったところでございます。
- ・ただ、なかなか当該活動を継続的にやっていきたいと思っているんですけれども、今現在、例えば毎週日曜日に使えるかという形での継続的に利用できるという場所がまだ見つかっていないというのが現状で、現在区のほうでは御幸森小学校の跡地、先ほど1年間はこの話、委員のほうからございましたけれども、暫定的に使うことができないかということで動き始めたところではございます。
- ・一方で、この間、このコロナ云々というところを理由にするわけじゃないんですけれども、やはり皆さんで集まろうと思っていました調整会議とか、ちょっと流会になってしましまして、調整の状況とか、今後の動きどういうふうに考えているんだということというのが、各運営委員会の皆さん、地域の皆様としっかり共有ができていなかったということがあるかなと思います。
- ・そのことがございましたので、今回こういったご意見を頂戴したのか思うんですけれども。その点は反省しないといけないところだとは思っているんですけれども。あと、今後その点については情報共有を密にしながら、調整のほうを図っていかないといけないというふうには思っております。
- ・雑駁な説明にはなるんですけれども、この間の調整状況については以上となります。
(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)
- ・済みません。説明のほうがございましたけれども、ご質問等がございましたら。
(委員)
- ・この議題、これに関しては、僕が一応提案させてもらったんですけれども、先週ですか、結構いろんな方向から聞かせてもらったんですけれども、各方面からがちょっと言うことが違うというか、認識がちょっとみんな違うように聞こえたので、今回集まってももらったんですけれども。今の中川小学校ですね。大池小学校になるじゃないですか。その校長先生と、あとPTA会長、どういってお考えかちょっと聞きたいです。
(委員)
- ・中川のPTA会長です。今施設開放の事業委員として、会長として出席させていただいておるんです。9月の、今言ったお話というのは、学校が受け入れるということではなくて、安全対策がとれないので今の状態では認めないという話の中で、コロナもあったんでちょっ

と集まりができなかったと。ただ、今使用されている野球の方ですね。その安全対策面をきちっとお話をさせてもらった上で、そういう対策の費用面とか、今までやっていたのに急にできなくなるという、その子どもたちのことを考えると、もっと密にきちっと話をし、学校側に逆に打診するべきではないのかなという感じですね。

- ・今までは、御幸森でこういうことをしていたと、その中で中川、今の現中川ではできていないと、そういうものも予算を出して、やっぱり少しでも、新しく入ってくるというのではなくて、元々あったものがなくなるということは、少しちょっと認識からずれているのではないか。
- ・それを利用される団体の方と委員の長と今、担当者の方と、きちっとそれを話した上で、通常は大池小学校がもう始まると同時にしとくべきだと思うんですわ。これはコロナもあるので、なかなか一言には言えないんですけども、やっぱりそういう話し合いがないまま、ずっとズルズルっといくとやっぱり今まで利用されていた方というのは、少し納得がいかないのかなとは思いますが。
- ・現に、中川ではだめだというような発言はしていないのかなということは、参加させてもらっていますんでお話しさせていただきます。
- ・以上です。

(柿野中川小学校長)

- ・施設開放のことなんですけれども、これは再編になるということは、実は物理的なものですよね。教育活動だけじゃなくってPTAもそうですし、生涯学習もそうですし、施設開放もこれも一緒、全部セットな話なんです。今でいうと、例えば小学校でいうと防球ネットが1面しかない話で、そこは早急にやらなあかんねんけれども、そこを整備するのは学校なんか、やっぱりそういう統括する区としてやるのかという話が出ない中で、じゃあ学校が、それを今の状態やったら安全面でいうと担保でけへん話やから、今の現状で無理ですよというのが、何か学校が拒否しているみたいに捉えているみたいなのはちょっとそこは違うんでね。
- ・基本的には2つ一緒になってできるために、何をしていかなあかんのかということでないで、双方の学校、例えば逆に御幸森さんが来るから、中川が今までしていたことができなくなると、これもおかしい話なんですよ。
- ・だから、2つの学校、組織、それから地域の活動が保障されるためには、何かは変えていかなあきませんし。僕らでいうと、基本なものは教材教具であったり、そういう施設整備だけを中心にやるんですけども、そういう課外のところでいうたら、もっと広い視野でやらないと、開放時間以外の活動、これも学校で事故があったら困る話で、そこをじゃあ、いやそれは学校が全部やりなさいというものなのかと。そこを詰めないと、時間はどんどん、これは1年、2年たっていくと、今5年生、次5年生の子は、もう卒業しちゃったら結局使えなくなるから、やっぱり整備するというのは、そういうことも含めたセットやと思うんですよ。
- ・そこを100%できへんにしても、どこからやっていけるのか。ここまでやったら活動というのはある程度できるん違うのかということで。いわゆるできていくためにどうしていかなあかんのかという議論をするための裏打ちを、やっぱり学校の現場、それからニーズの

ある団体、それからやっぱりそれをまとめていく行政の側ということが、そこを一致せえへんかったらあかんというのが今の課題だと思うんですよ。

- ・当然、今まで御幸森小学校でできていたのに何ででけへんねんと、これ素朴に思う話ですわ。そこを逆の中川小学校でいうと、子どもがもう4月なってでけへんようになるのかって言われたら、本当にどうすんねん。親としてどうすんねん。というのは課題は一緒だと思うんですよ。
- ・その辺のところは早急に、どうやったら、どの取っ掛かりでじゃあ予算、どこからとっていくのかというのは、通常の体育施設開放というのは限られていますよね。そういう部分だけだったら、無理やと思うんですよ。そういうようなところをもう少し、もう時間はそんなになんないと思うので、やっぱり手だてをしていかないと、あかんのかなというのが学校としての見解なんです。
- ・別に、できないじゃなくて、やるためにどうしたらええねんというのが、学校だけで踏ん張ってもできひんところがあるので、そういうようなところを、そこが欠けているところじゃないかなとは思っているんです。

(委員)

- ・さらに、今のも踏まえてからなんですけれども、コロナが、コロナのせいって言ってもある程度あると思うんで、これから半年とかじゃなくて、何て言うんですかね。御幸森小学校で今野球をされている方となると、この話し合いはこれからコロナやから会議できませんという話じゃなくて、それこそ早くやってもらったほうが、もういろいろ手だてであると思いますんで、今の学校側とPTA会長と区役所の方で全員で話聞きましたんで、これで全員合わせられると思うんで、もう僕のほうに、何かいろんなこう言っていた、ああ言っていたという話は多分こないと思うんで、ちょっとできるように区役所の方、話し合い等お願いします。大丈夫ですか。

(井平安心まちづくり担当課長)

- ・はい。今、お話聞かしまして区役所のほうも、実際にやっぱり現状のことだけを見ていたところも確かにありますんで、まず学校のほうとしっかりと話をした上で、どういった形で進められるのかというところをしながら、当然PTAの会長の意見もいただきながら、あと団体さんのほうとしっかりと話をして、前に進んでいけるような形で、今言われているように時間をかけてやるんじゃなくて、早期に対応できるように取り組んでいきますので、引き続き、御協力のほうをよろしくお願いします。

(委員)

- ・区役所の方のほうから、担当者から皆様にちゃんと伝えてください。みんな知っているだろうとかじゃなくて。必ずあなた方発信でお願いします。

(井平安心まちづくり担当課長)

- ・わかりました。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・その他ございませんでしょうか。

(委員)

- ・学校に話をする前に、まず利用されるスポーツ団体の方とお話をまずしてもらって、実際

に防護ネットとかというのはどうしても期間がかかると、予算もあると。そうなってきたときに、どうしても今の5年生、6年生で、野球、うちの息子もしているんですけども、その期間というのは物すごい大事な期間なんですわ。

- ・伸びる、伸びない。できる、できないがあるので、例えばその利用団体の方が、こういう練習方法やったら安全面もできるから、学校側とちょっと話をしてもらわれへんかというのをしないと、野球全部一から十までってなると、クリアするまでに物すごい時間がかかると思うんです。
- ・だから、じゃなくて、例えば体力づくりで走ることやったらいいよとか。ボールは打たないけれども投げるんやったらいいよとか。そういう最低限のその利用団体の方のまず意見を聞いて、ネットやったら2年かかります。その2年の間やったら、半年やったらここまでやりますとかという、そういう条件をある程度きちっと出さないと、やっぱり。それから学校側と、こういうふうにやってくださいねとか、これやったら対策がオーケーやから、これやったら施設利用の方と日時調整して利用してくださいとかという意見になってくると思うんですわ。
- ・だから、一から十までを全部やるとかではなくて、ちょっとずつでもいいんで聞いてもらったらいいのかなとは思っています。

(井平安心まちづくり担当課長)

- ・ありがとうございます。この間もいろいろお話はお伺いしながらやっていたんですけども、その辺がうまく調整ができていなかったところが問題があると思いますので、そこは早期に再度しっかりとやっていきたいと思っています。よろしくお願いします。

(委員)

- ・済みません。その点、いいですか。とりあえず、跡地の話がこれから進んでいくと思うんですけども、とりあえず来年1年は御幸森の整備ということで聞いていて、その間については、まち協のほうと使用について、何か話をするというふうに聞いたんですけども、その条件の中に、例えば今おっしゃっているようなすぐに対応が難しいのであれば、御幸森が空いているのであれば、引き続きやることとかも可能だと思うので、その辺は会長さんもおっしゃっているみたいに、ちゃんと当事者になり聞いてもらうような感じでいえば、跡地の状況の中で使用が可能ではないかと。
- ・そのときに今度、協定じゃなくて、何かされるんですよね。まち協とね。そこの中身にちゃんとこのことが反映されているのかどうか、今ちょっと心配になったので、この辺も今週とかいうふうに聞いているので、ここもまた配慮をして入れてもらえたらいいん違うかな。当面、とりあえず使えるところで使ってもらおうというのがいいかなというふうに思っているのです。よろしくお願いします。1年間。

(井平安心まちづくり担当課長)

- ・いろんな状況はあると思うんですけども、今おっしゃっていただいているようにしっかりと大池小学校のほうで活動していくための調整をするというのが、まず前提だと思いますけれども、今おっしゃっていただいているように、すぐに行けない場合は間があくことがないよう、その跡地の活用も含めて、中で情報をしっかり連携して、使えないということがないような形で調整していきますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・そのほかございませんでしょうか。今の施設開放以外につきましてでも構いません。よろしいでしょうか。
- ・本日の議題は以上となります。それでは閉会の前に区長のほうからご挨拶のほうをさせていただきます。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・本日もご意見さまざまにありがとうございました。どうしても私たちも縦割りみたいなどころで申し訳ないところもあったかと思えますし、区としては学校再編、小学校再編自体、初めてのところもありまして、いろいろ情報収集をしながら努めてはいるところなんですけれども、このように皆さんの側から見たら、もう行き届かない、聞こえないというようなところも多々あるかと思えます。
- ・その都度、ご指摘いただいて、私たちも議論や情報共有をしっかりと進めていきたいと思えますので、こういったご意見非常にありがたく思っております。
- ・本日も長い時間ありがとうございました。よろしく願いいたします。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・皆様、お疲れさまでした。本日は終わります。どうもありがとうございました。

6 主な確認事項等

- ・大池中学校、大池小学校による連携型小中一貫校について、通称を定めることとし、次回の検討会議にて、通称の決定方法について検討を行う。
- ・柿野中川小学校長が作曲した、大池小学校の校歌の楽曲を確認した。

7 会議資料

- ・議事資料大池小学校歌 楽譜
- ・報告資料1 大池小学校開に向けた施設整備等について
- ・報告資料2 通学路の安全対策について
- ・(追加資料) 通称選定の進め方(案)
- ・(追加資料) 「児童の安全確保と居場所づくり事業」実施内容 イメージ図